

科目名	専門総合演習 「子どもの表現を探る－音楽的な視点から－」		担当教員	古山律子		
			担当形態	単独		
テキスト	適宜資料を配布する。	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標 乳幼児期にみられる様々な「表現」について学び、考え、グループディスカッションなどを通じて、自らの解決すべき課題を発見する。</p> <p>■授業の概要 本演習では「表現」を手がかりに子どもの世界を理解し、共に生きる保育者・共に表現する保育者とはいかなるものかを探究する。様々な体験や提示された事例を検討し、グループディスカッションなどを通して、子どもの「表現」に関する考察を深め、自らの保育観・表現観をかたちづくることに繋がる課題を見つけていくものである。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション 「表現」とは何か 第2回 日本の幼稚園の表現活動に関する事例紹介 第3回 海外の表現活動に関する事例紹介 第4回 表現を読み取る視点① 『窓ぎわのトットちゃん』～もどしとけよ 第5回 表現を読み取る視点② 『窓ぎわのトットちゃん』～リトミック 第6回 表現を読み取る視点③ 『子どもに生きる』～環境に込める保護者の願い 第7回 表現を読み取る視点④ 『子どもに生きる』～共に表現する保護者 第8回 表現を読み取る視点⑤ 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』 第9回 教育実習の指導案検討 第10回 教育実習における事例の考察① 表現 第11回 教育実習における事例の考察② 環境 第12回 自らの課題生成へ向けて① 記録のまとめ方 第13回 自らの課題生成へ向けて② 表現する保育者・共感的対応 第14回 夏に取り組む自己課題の検討 第15回 夏に取り組む自己課題の設定</p> <p>■準備学習 ・次回授業で取り扱うと指示された文献等を事前に読み込んでおくこと。次回授業が音楽表現の実践の場合は、十分な準備をしておくこと。</p> <p>■評価方法 ・授業での取り組み（討議への積極的な参加・発言内容） — 40% ・小レポート — 20% ・まとめレポート — 40%</p>						
参考文献	青木久子「新保育者論子どもに生きる」萌文書林 黒柳徹子「窓ぎわのトットちゃん」講談社 「幼稚園教育要領」文部科学省 「保育所保育指針」厚生労働省		特記事項	授業内の討論や表現活動に意欲的に参加し、自らの課題を深く掘り下げたレポートを提出すること。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修		幼			
			保			